



第2巻  
第16号

平成24年7月25日

**JASWHS** 公益社団法人 日本医療社会福祉協会  
Japanese Association of Social Workers in Health Services

## 東日本大震災 MSW災害支援ニュース



群馬県利根郡川場村の花火大会

### 目次

1. 災害対策本部からのお知らせ
2. 現地支援活動報告①
3. 事務所・現地感想文

## 災害対策本部からのお知らせ

### 協力員募集！！

引き続き協力員を募集しています。

＜現地＞現地の業務状況を鑑み、当面は制限なく受け入れを行います。

中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

7月、8月についてもまだまだ空いております。

＜事務所＞平日のみの活動ですが、1～2ヶ月に1回でも構いません。

**皆様のご協力をお待ちしております！**

### 次回災害対策本部会議について

7月21日(土)に実施しました。次号に議事録を掲載させていただきます。

次回は9月7日(金)19:00～ 協会事務所にて開催します。

### 研修情報

#### 災害ソーシャルワーク研修Ⅱ

日 時：8月4日(土) 10:00～17:00

場 所：聖路加国際病院 本館2階トイスラホール(東京都中央区明石町9-1)

申込締切：7月27日(金)

※詳細は、協会ホームページの「研修情報」をご覧ください。

URL:[http://www.jaswhs.or.jp/training/information\\_detail.php?@DB\\_ID@=255](http://www.jaswhs.or.jp/training/information_detail.php?@DB_ID@=255)

### 現地・事務所職員募集！！

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。

災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。

または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介下さい。

#### (1) 現地常駐者（短期契約職員）

- ・就業場所：宮城県石巻市大街道北
- ・就業時間：9～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・基本給 250,000円/月 通勤費は実費支給
- ・社会保険加入
- ・医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- ・長期の方優遇

#### (2) 災害対策本部事務所担当（パート職員）

- ・就業場所：協会事務局内
- ・就業時間：週4日程度 10～17時
- ・休日：土曜・日曜・祝日・年末年始
- ・時給 900円～ 通勤費は実費支給
- ・経験不問、医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送り下さい。面接にて決定させていただきます。

または災害対策本部までお気軽にお問い合わせ下さい。

〒162-0065 東京都新宿区住吉町8-20 四谷ヂンゴビル

TEL：03-5366-1057 担当：笹岡・中川

## 書籍販売のご案内

『東日本大震災 医療ソーシャルワーカーの支援のバトン1』の販売を行なっています。

発災から9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。

尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。下記よりダウンロードしてください。

URL：[http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing\\_detail.php?@DB\\_ID@=45](http://www.jaswhs.or.jp/data/publishing_detail.php?@DB_ID@=45)



## Facebook ・ YouTube で情報をお伝えしています！！

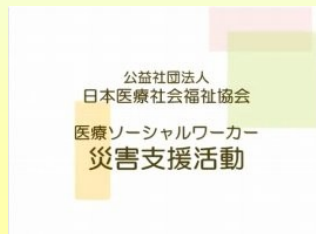


-Facebook URL-

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

- YouTube URL-

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>



## 現地支援活動報告①

櫻井 裕美 (千葉県 順天堂大学医学部附属浦安病院)

期間：7月12日～7月15日

昨年9月以来、約10ヶ月ぶりの5回目の活動でした。昨年9月時点でも随分きれいになったとの印象でしたが、それ以上に街並みも道路もきれいになっており、復興商店街などの地元の店もオープンしておいしい定食屋さんに行ったりして、地産地消を楽しみました。今までの避難所内や仮設住宅での活動とは異なり、今回は今までなかなか行けなかった北上地区や渡波地区で多く活動しました。この辺りは未だに解体作業も進まないところが多くあり、市の中心部と郊外との地域格差を感じました。4日間で約10件自宅訪問し、訪問先で医療・健康・生活からグチまで様々なお話を伺いました。震災から1年4ヶ月が経過しましたがいまだに心の傷が癒えない人、傷を抱えながらも前に進もうと頑張る人…様々ですが、みんなこの「石巻」という街で生きているのです。今回の活動で出会った多くの方が「遠くからありがとうね」と言ってくださり、たった4日間でしたが数え切れないほどの「ありがとう」というお土産を、私にくださった石巻の人々に感謝申し上げます。そしてあらためて石巻の強い忍耐力とあきらめない気持ちに私の方が励まされたような気がします。

支援活動のオリエンテーションからマニュアルまで整備されていますので初めての方でも安心して活動できると思います。病院勤務をしていると普段はフィードバックをする機会が少ない方も多いと思いますのでスキルアップにもつながると思います。地産地消も楽しいです。

## 現地感想文

7月16日（月）

石巻も暑い一日でした。空気が澄み、海からの照り返しもあり半端じゃないリゾート気分を女川訪問組は味わいました。美しい深い湾の女川港は、信じられない高さまで、津波が押し寄せたところ。と、包括・社協（お休みでした！祭日だったのね～！）の前で佇んでいたら、近くの観光協会の方がいらしてたくさん説明してくれたそうです。壊滅的だった女川港ですが、新しい荷揚げ場が出来、カツオも昨日、震災後初めての荷揚げだったそうです。「希望商店街」もにぎわっているそうです。

7月17日（火）

昼はすごく暑くても、夕焼けの頃にはさわやかな風と冷気が気持ち良い石巻です。協力員お二人は、石巻の3連休を満喫して、でもしっかりお仕事もされて、帰途に就かれました。若くても、さすが、電話や訪問時の技術は確かです。たくさんお話を引き出していました。

19日に生活困窮者への対応を情報共有する会議が急遽入りました。仙台で集まります。全国の問題の先取りとなる内容になるでしょう。石巻の事例を持参します。

7月18日（水）

遊楽館に近い山側の病院2件訪問。木々の緑が美しく、病院の周りの田圃もやわらかい稲が伸びて風に揺れています。まだ、鶯の冴えた鳴き声が涼しい風に乗って飛び交います。至福の一瞬を楽しんでいます。訪ねた病院のSWも、また被災者。病院に居て何日も帰れず、家は泥水に浸かって…だったそうです。今度また、ゆっくりお話を聞かせていただくことにしました。

7月20日（金）

今日の気温は20℃でとても肌寒い日でした。

まもなく夏休みのせいなのか、復興マルシェの隣で子供たち向けにドラえもんの映画が上映されました。あおぞら？夜空映画とでもいうのか、今は使われていないビルの壁をスクリーンにしての上映でした。子供たちが楽しんでいる様子を見ているとこちらも温かな気持ちになります。

7月21日（土）

本日、パワフルな大阪組の3名が夕方に離石されました。中辻含め大阪弁の4人に久保木さんは圧倒されていた気がします。石巻にいて、大阪色の強い貴重な一日でした。今後も全国各地からのご協力、よろしくお願いいたします。

## 事務所感想文

7月20日（金）

尾方（西群馬病院）

7月・8月は全国からかなりの方が活動されます。体調に気をつけ、ご活躍ください。